

生物資源工学・経済学コース(農学)

専門科目(生物資源工学・経済学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBNK101	エコリージョン基盤開発学講義I	6	1.0	1	通年	応談	石井 敦, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 山川 陽祐, 杉本 卓也, 宮本 輝仁, 源川 拓磨, ゲオンゾン レスター カンケ	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK102	エコリージョン基盤開発学講義II	6	1.0	2	通年	応談	石井 敦, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 山川 陽祐, 杉本 卓也, 宮本 輝仁, 源川 拓磨, ゲオンゾン レスター カンケ	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発するエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK103	エコリージョン基盤開発学講義III	6	1.0	3	通年	応談	石井 敦, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 山川 陽祐, 杉本 卓也, 宮本 輝仁, 源川 拓磨, ゲオンゾン レスター カンケ	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK111	食料・バイオマス科学講義I	6	1.0	1	通年	応談	ダス ネヴェス マルコス アントニオ, 北村 豊, 中川 明子, 小幡谷 英一, 山田 竜彦, 小杉 昭彦, 真野 潤一, コン ペイフ	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OBNK112	食料・バイオマス科学講究II	6	1.0	2	通年	応談	ダス ネヴェス マルコス アントニオ, 北村 豊, 中川 明子, 小幡谷 英一, 山田 竜彦, 小杉 昭彦, 真野 潤一, コン ペイフ	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK113	食料・バイオマス科学講究III	6	1.0	3	通年	応談	ダス ネヴェス マルコス アントニオ, 北村 豊, 中川 明子, 小幡谷 英一, 山田 竜彦, 小杉 昭彦, 真野 潤一, コン ペイフ	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK121	地域システム経済学講究I	6	1.0	1	通年	応談	興 裕 克久, 首藤 久人, 飯山 みゆき, 石崎 涼子, 澤田 守, 高田 純	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	
OBNK122	地域システム経済学講究II	6	1.0	2	通年	応談	興 裕 克久, 首藤 久人, 飯山 みゆき, 石崎 涼子, 澤田 守, 高田 純	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBNK123	地域システム経済学講 究III	6	1.0	3	通年	応談	興梠 克久, 首藤 久人, 飯山 みゆ き, 石崎 涼子, 澤 田 守, 高田 純	生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。	